

A close-up photograph of dark purple, almost black, leaves covered in numerous clear water droplets. The background is a soft, out-of-focus green. The lighting highlights the texture of the leaves and the glistening surfaces of the water droplets.

佛教大学広報誌

B-ism

佛教大学教育後援会報

「紫峰」

NO.11

佛科大学
教育後援会報

紫峰 SHIHO

第123号

保護者と大学をつなぐ

教育懇談会開催報告

教育懇談会
京都開催

本学で開催した教育懇談会では、「就職活動体験談報告会」をはじめ、各学科教員が参加する「学科別懇談会」を開催致しました。(参加者582名)



全体会

教育懇談会は、教育後援会と大学との共催により保護者の皆さまに大学の現状報告や個別懇談を行うもので、大学をより身近に感じていただき、保護者同士や大学との和を広げていくことを目的として、毎年各地で開催しております。今年度は722名の参加をもって無事終了いたしました。ご参加いただきました皆さまありがとうございます。

平成28年度も、引き続き開催いたしますので、ぜひお気軽にご参加ください。

平成27年度 教育懇談会開催一覧

開催日	開催地	会場	参加人数
6月14日(日)	岡山	アークホテル岡山	35
6月21日(日)	福井	ホテルエコ福井駅前	20
6月28日(日)	東京	メルパルク東京	12
7月4日(土)	京都	佛科大学 紫野キャンパス	355
7月12日(日)	福岡	TKPガーデンシティ博多	17
10月4日(日)	名古屋	名古屋クラウンホテル	14
10月11日(日)	徳島	ザ グランドパレス	15
10月17日(土)	京都	佛科大学 紫野キャンパス	227
10月18日(日)	鳥取	鳥取シティホテル	27
合計(人)			722

※平成28年度開催予定は、4月中にホームページ上でお知らせする予定です。

7/4 プログラム 参加者355名

- 11:00～ 全体会
- 開会挨拶
- 事務局各部署より現況報告
- 13:45～ 学科別懇談会
- 15:15～事務局個別懇談会

学科別懇談会参加教員一覧

学科名	氏名
仏教学科	川内 教彰
日本文学科	三谷 憲正
中国学科	若杉 邦子
英米学科	栗野 修司
歴史学科	塚本 栄美子
歴史文化学科	植村 善博
教育学科	橋本 憲尚
臨床心理学科	牧 剛史
現代社会学科	近藤 敏夫
公共政策学科	堀江 典子
社会福祉学科	渡邊 保博・長瀬 正子
理学療法学科	越智 淳子・得丸 敬三・藤川 孝満
作業療法学科	木戸 隆宏・七里 展子
看護学科	宇多 絵里香・鬼頭 泰子

10/17 プログラム 参加者227名

- 11:00～ 全体会
- 開会挨拶
- 就職状況の現況報告・解説
- 就職活動体験談報告会 (OB・OGによる体験談報告)
- 13:45～ 学科別懇談会
- 15:15～事務局個別懇談会

学科別懇談会参加教員一覧

学科名	氏名
仏教学科	齊藤 隆信
日本文学科	濱田 泰彦
中国学科	鶴岡 光昌
英米学科	栗野 修司
歴史学科	貝 英幸
歴史文化学科	斉藤 利彦
教育学科	橋本 憲尚
臨床心理学科	中道 泰子
現代社会学科	山本 奈生
公共政策学科	水上 象吾
社会福祉学科	芳野 俊郎・長瀬 正子
理学療法学科	白星 伸一・得丸 敬三・越智 淳子
作業療法学科	木戸 隆宏・七里 展子
看護学科	利木 佐起子

ご参加いただいた皆さまからのお声(抜粋)

- 社会の変化が早過ぎて、今時の大学生生活や、就職等分らないことが多い。せつかくの機会を設けてくださっているの、親として知っておくべきことがあるなら教えていただこうと思い、参加しました。(1回生保護者・京都会場)
- 昨年に引き続き2回目の出席ですが、今回も各部署よりのお話を聞かせて頂いてとても良かったです。就職活動はまだ先ですが、今現在の活動の様子も分かり、早速子どもに話をする機会があったら話したいと思います。学生支援課は特に下宿させている保護者にとっては、大変心強いところだより思いました。今の学生の様子をお聞き出来て大変参考になりました。(2回生保護者・地方会場)
- 1、2回生の教育懇談会が自分自身のためになったので。また、いまの大学や学生のことを知る機会でもあると思うので参加させていただきました。(3回生保護者・京都会場)
- 4回生になり、一度はこのような保護者会に参加すべきだと思い参加しました。各課の取組みを分かり易く紹介頂き、ありがとうございました。個人課題発見などのアクティブラーニングシステム導入の話は、大変興味深く聞かせて頂き、勉強にもなり楽しかったです。(4回生保護者・地方会場)

私たちの就職活動 体験談



10月17日(土)に開催致しました教育懇談会(京都会場)では、3名の佛大O.B.・O.Gによる「就職活動体験談報告会」を行いました。学生支援部より大学の取り組みや就職活動においての心構えなどを説明後、一般企業、教育職、公務員の各分野に就職したO.B.・O.Gから、学生時代の過ごし方や就職活動への取り組み、自分の親への思いとして感謝している事、やめて欲しかった事、やって欲しかった事などをお話いただきました。

会場では、熱心にメモを取りながら3名の話に耳を傾けておられる保護者の方が多く見受けられ、改めて就職に対する関心の高さを実感いたしました。以下2名の方の発表内容を簡単にご紹介します。

就職活動体験談報告項目

- ① 就職活動や採用試験の経験をふまえての“後輩へのアドバイス”
- ② 自分の親への思い
(感謝している事・やめて欲しかった事・やって欲しかった事)



やまうち しんご
山内 真吾
2014年3月
社会福祉学科卒業
小学校勤務

① 大学の授業、イベント、サークルなど多くのパソコンを使っていただくことで大学生活の活動の幅が広がり、採用試験に向けてさまざまな活動を通して成長することができたと思います。特に、4回生の4月から参加した就職支援センター主催の教員養成講座では多くの仲間と出会えました。仲間との出会いにより、互いに高め合い「みんなで試験に合格する」という強い気持ちを芽生えさせる事ができました。また、京都市では「学生ボランティア」が行えます。学校の現場に入って活動をさせてもらうことで、小学校の現状を把握できたり、楽しい部分や大変な場面を見たり経験させてもらうなど、小学校で働くことのイメージが膨らみ、小学校で働く気持ちが高まるきっかけとなりました。

② 生活費や学費でのサポートがとても大きかったです。「いいものを買ったために、いい人とのめぐりあうために無駄遣いをしなさい」と声を常にかけてもらっていたことは、大学生活で失敗を引きずらずとんとん挑戦しようという気持ちに繋がりました。また、よく電話をかけて来てくれ、不安や心配事がたくさんある中、採用試験に向けて自身の考えを尊重し、温かく見守ってくれたことや仕送りでは、好きな食べ物を送ってくれ、些細なことですが、私のリズムに合わせて体も心も支えてくれた事に本当に感謝しています。



いいたに みきや
飯田 幹也
2015年3月
教育学科卒業
市役所勤務

① 公務員試験を受けるうえで一番大切なのは志望動機です。この志望動機が就職活動をするうえでしんどい時や苦しい時に一番助けてくれるものになります。私自身も何度も心が折れそうになりましたが、最後まで走り続けたのは、なぜ公務員(市役所職員)になりたいのかという部分で他の受験生に負けない強い意志があったからだと思っています。後輩の皆さんは、「なぜなりたいたいのか?」と自問自答してください。これが自分自身を助けてくれるものになると思います。また論文と面接試験で一番大切な事は、自分自身の引き出しの数を増やす事です。4年間の大学生活の中で、より多くの経験をする事により、自信を持って、論文や面接試験を受けることができると思います。

② 自身は公務員しか考えていませんでした。親(主に父親)から、本当に一般企業を受けなくて大丈夫なのかと何回か言われた時は、筆記試験の事で不安がっぱいだったので、とてもしんどかった事を覚えています。親も私と同じくらい心配で不安だったとは思いますが、公務員のみで頑張ろうとする子どもには禁句でした。ただ、一方では周りがとんとんと進路を決定していく中、不安と焦りでいっぱいだった時に、その気持ちを吐き出す存在となり、頷いて共感してくれた事には大変感謝をしています。

地方開催

6月14日(日)から10月18日(日)までの期間、全国7都市で開催し、各会場とも多くの皆さまにご参加をいただきました。

教育懇談会(地方会場)プログラム

- 13:00～ 全体会
開会挨拶
事務局各部署より現況報告
- 14:30～ 茶話会
- 15:00～ 事務局個別懇談会



個別懇談会



全体会

Topic 1

「朝食を食べよう週間」

教育後援会事業 トピックス



紫野キャンパス1号館地下1階
カフェテリア「笑虹紫」

朝食を食べる習慣を通じて、しっかりとした生活習慣を身につけ、生活リズムの改善や健康増進を図り、充実した学生生活を送っていただくため、教育後援会の支援のもと、紫野キャンパス1号館地下1階のカフェテリア「笑虹紫」において、「100円朝食」（1日限定50食）を9月28日（月）から10月28日（水）までの約1か月間実施し、延べ1000名の利用がありました。

メニューについては、昨年度、5日間限定で試験的に実施した際に、学生の皆さんに、「朝食で食べたいメニュー」について自由回答していただいた内容をもとに、メニューを考案し、日替わり朝食を提供致しました。

利用した学生の皆さんからは、大変好評を得ており、朝食をしっかり食べる習慣づくりのきっかけになっただけでありません。

◆メニューの一例



Topic 2

「京都に学ぶ」

「京都に学ぶ」には、「京都」という土地で学ぶというだけでなく、日本を代表する古都「京都」から学ぶという二つの意味が内包されています。

「京都」という土地で学問ができるのも何かの「ご縁」。お子様と一緒に保護者の皆さまもぜひ「古都京都」に触れてみてください。

※拝観には、鑑賞券が必要です。ご希望の方は学生支援課又は三条キャンパス事務課までお問い合わせください。



知恩院

宗祖法然上人が1175(承安5)年、吉水の地に草庵を結ばれたことを起源とし、入寂された遺跡に建つ浄土宗の総本山。第二世源智上人により基礎が築かれ、徳川家康、秀忠、家光らの外護により現在の壮大な伽藍が形成された。境内には、国宝の御影堂や三門、重要文化財の勢至堂、集会堂(法然上人御堂)、大方丈、小方丈、経蔵、唐門、大鐘楼などの文化財指定建造物が建ち並ぶ。法然上人の像(御影)を安置する御影堂は、1639(寛永16)年に再建された中心的御堂で、2012年から8年間にわたる半解体修理が行われている。

立命館大学国際平和ミュージアム

戦争の被害と加害の両面から平和について考えることができる世界初の大学立の平和博物館。「一五年戦争」の実相など過去の戦争の実態を伝えるとともに、暴力や貧困など地球上のさまざまな問題と、それらを克服し平和な世界をつくるための活動を展示している(1992年開館)。

龍安寺

石庭として有名な方丈庭園(史跡・特別名勝)は三方を築地堀(土堀)の屋根は柿葺(に囲まれた枯山水の平庭で、「虎の児渡しの庭」とも呼ばれる。1994(平成6)年12月「古都京都の文化財」として、「世界遺産条約」に基づく世界文化遺産に登録された。

直指庵

1646(正保3)年、隠元禪師の高弟独照性円禪師が草庵を結んだのが起り。直指人心の黄檗の正統を守り寺号をつけず直指庵とした。荒廃したが、幕末に近衛家老女村岡の局が再興。現在は浄土宗。

高麗美術館

在日朝鮮人・故鄭詔文氏が設立。主に高麗、朝鮮王朝時代の美術品を収蔵。陶磁器、絵画、金工品、石造美術品のほかに家具、民具類もあり、所蔵品は約1700点。年に4回企画・特別展も開かれている。朝鮮半島で育った「美」を専門に展示。

願徳寺

地図に載っていない京都一小さな拝観寺院で、本尊は国宝の如意輪観世音半跏像。都合のつく限り、一人で来られてもお話いただけること。

清凉寺

「嵯峨の釈迦堂」で知られる浄土宗の古刹。987(寛和3)年、裔然(ちょうねん)が中国から帰国し、大清凉寺の建立を計画。没後、弟子の盛算が棲霞寺に、師が宋より請来の釈迦如来立像を安置した。体内に内臓を形どった納入物があり、生身如来といわれている。

常照寺

1616(元和2)年、日乾上人が開創、鷹峰檀林(学寮)と称された。寛永(1624-44)のころ、島原の2代目吉野太夫が帰依し、朱塗りの山門を寄進した。これが現存の吉野門で、吉野太夫の墓や太夫ゆかりの茶室遺芳庵がある。日蓮宗。毎年4月第3日曜には吉野太夫花供養が行われる。

■ 県人会 ■

学生と卒業生をつなぐ 「県人会」

出身県(出身地)をキーワードに、
学生同士や同窓生の皆さんとの縦横(たてよこ)のつながりを深める会「県人会」を
教育後援会や同窓会支部の援助のもとに開催しています。



第4回 沖縄県人会 開催日 6月25日(木)



第4回 静岡県人会 開催日 11月20日(金)



第2回 福岡県人会 開催日 11月20日(金)



第17回 広島県人会 開催日 11月26日(木)



第4回 和歌山県人会 開催日 11月27日(金)



第6回 福岡県人会 開催日 12月4日(金)



第2回 三重県人会 開催日 12月5日(土)

■ 宗教情操教育 ■

建学の精神を育む宗教情操教育

佛敎大学で送る学生生活の中で宗教情操行事に心と身体で触れ、現在そして将来と、意義ある日々を送られることを願い、年間を通してさまざまな行事を行っております。その中でも「佛敎大学授戒会」は、保護者の皆さまもご参加いただける行事であり、今年度は、1組が親子でご参加されました。

9月11日(金)から13日(日)まで、嵯峨釈迦堂清涼寺(京都市右京区)に於いて開筵し、伝戒師を田中典彦先生(学長)、説戒師を福岡豊純先生(仏敎学部准教授)にお勤めいただきました。2泊3日の短い期間でしたが、日常の雑踏から離れた静かな道場に於いて、参加者は戒を授かることの意味や人間としての生き方について、体験を通じて思慮しつづつ過ごされました。最終日の正授戒では伝戒師より戒牒が授与され、満行となりました。

参加者内訳

合計32名＝通学生6名・通信生22名・保護者3名・教職員1名



授戒会



佛教大学

B-ism No.11

発行日
2015年(平成27年)12月18日

発行者
田中 典彦

編集者
広報委員会

編集・発行
佛教大学広報課
佛教大学教育後援会
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
TEL 075-491-2141(代表)
www.bukkyo-u.ac.jp/

撮影場所 紫野キャンパス